



2026年1月29日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード: 186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

日本連結子会社における JAXA 宇宙戦略基金の交付決定に関するお知らせ

当社の日本連結子会社である株式会社アストロスケール（以下 ASJP）は、宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）が公募した宇宙戦略基金事業第二期において、「空間自在移動の実現に向けた技術」の実施機関として採択されましたのでお知らせいたします。本プロジェクトの支援上限金額は 15 億円※1 であり、補助事業期間は 4 年間※2 です。

防衛及び民間の幅広い顧客から需要が拡大している燃料補給サービスにおいて、化学推進薬だけでなく電気推進薬にも対応することが当社グループの長期的な成長戦略において不可欠であると認識しており、本件は戦略的に重要なプロジェクトと位置付けております。

1. 本補助事業の概要（予定）

配 分 機 関 : 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
支 援 上 限 額 : 15 億円※1
補 助 事 業 期 間 : 4 年間※2
技術開発テーマ : 空間自在移動の実現に向けた技術
技術開発課題 : 静止軌道上でのサービスを見据えた電気推進薬の燃料補給技術の開発

※1 今後ステージゲート審査等により変動し得る数字

※2 当初補助事業期間は、補助金交付決定日から、最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の末日まで

本件は、2026年1月23日に採択結果が発表されましたが、本日、JAXAより開示許諾を得られたため、速やかに開示いたします。

2. 本技術開発の背景・目的

近年、ロケット打上げの低コスト・高頻度化を契機とした衛星コンステレーションの構築によるビジネス創出が進む中、静止軌道・シスルナ空間といった将来の宇宙経済圏を開拓するためには、軌道上サービス・ロジスティクスの概念拡張等による新たな市場の開拓を可能とし、燃料補給については従来の寿命延長の目的だけではなく、軌道間輸送機への給油等、宇宙ロジスティクスの一部としても期待されています。

そのような状況を背景に、この度 ASJP が採択された「空間自在移動の実現に向けた技術」のテーマでは、複数の採択事業者が軌道間輸送機の開発、軌道上燃料補給のコア技術開発、宇宙ロジスティクスの研究開発を一体的に推進することで、宇宙システムの相互発展やインターフェースの共通規格化等を促しつつ、宇宙空間における移動の自在性をもたらす技術を世界に先駆けて獲得することを目指します。

ASJP は、繰り返しの補給が可能な燃料補給システムに係るコア技術及び推進薬の移送技術の開発を行い、静止軌道衛星運用における経済合理性や他の軌道上サービスとのシナジー創出を追求してまいります。

す。また、本件開発を通じて獲得した基礎技術により、将来的には当社の静止衛星も燃料補給可能とし、更なる効率改善を図っていくことを期待しております。

当社グループは、これらの技術は軌道上サービスにおいて共通的に活用可能な技術であり、技術的な応用範囲も大きく、燃料補給システムとして早期の実証を達成することで、今後世界の軌道上サービス市場の更なる獲得が期待されると考えております。

3. 今後の見通し

本件は、2026 年 4 月期通期の連結業績予想の前提に含めておりません。現時点においては、本補助事業が 2026 年 4 月期通期の連結業績予想に与える影響は軽微と考えています。本件に関するプロジェクト収益は、補助事業期間にわたって計上される予定であり、2027 年 4 月期以降の連結業績への寄与を期待しております。

以上